

平成 23 年度 HESS 総会 パタゴニア報告 1

**2010年1月および9月パタゴニア
風況調査機器チェックと再設置の報告**

横浜国立大学名誉教授
 HESS顧問 谷生 重晴

2011年5月18日HESS総会

1

1月と9月出張の目的

- 1月出張の目的
- PCにデジタルデータが取れなくなった理由
 - データロガーのデータがない理由
 - 原因を見極めて問題解決
 - データ収集とデータの定期的配送を依頼

- 9月出張の目的
- 旧観測機材を撤去、日本に持ち帰って修理
 - 新しい超音波風速計、カップ風速計、矢羽根風向計を設置
 - データを(株)ソニックの新しいソフトでPCに同時に取り込む
 - データロガーでも取り込む
 - データ配送マニュアルをアルゼンチン水素協会と取り決める
 - NHKの取材に協力する
- 2

2010年 1月パタゴニア出張日程

HESS評議員 勝呂幸男、HESS理事 谷生重晴

1月6日(水) 16:20成田発→ワシントンDC→ブエノスアイレス
→コモドロリバダビア→ピコツルンカド

1月7日(木) ピコツルンカド泊
飛行時間:25時間15分、待ち時間:10時間55分、車移動:3時間

1月8日(金) 朝から調査実施、タワー上部の調査。ピコツルンカド泊

1月9日(土) 朝から調査と修正再設定を実施。
終了後コモドロリバダビアに移動。コモドロリバダビア泊

1月10日(日) ブエノスアイレスに移動。ブエノスアイレス泊

1月11日(月) ブエノスアイレスから1月12日米国ワシントンDCに到着

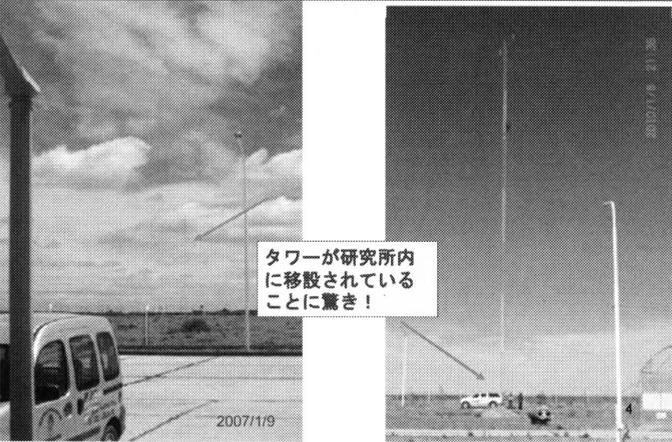
1月12日(火) 飛行機故障で出発延期

1月13日(水) ワシントンDC発

1月14日(木) 16:30成田着

3

2010年1月8日(金)



1月9日 配線後のケーブルとPC出力画面

HESSが提供したノートPCではなくデスクトップPCであることに驚き！
ノートPCは壊れたとのこと。OSが英語ではなくスペイン語！
データロガーに配線が施されていない！

矢羽根が
表れない

ここにだけ
表れる

データが
表れない

持っていたリード線でデータロガーに配線完了

スペイン語OSのため、パラメータ設定ができない！

5

2010年9月パタゴニア出張日程

HESS評議員 横山 稔、㈱ソニック 松島 悟、HESS顧問 谷生重晴

9月26日(日) 15:55 成田発→ヒューストン→ブエノスアイレス→
 9月27日(月) コモドロバダビア着。コモドロバダビア泊
 飛行時間24時間40分、待ち時間14時間40分
 9月28日(火) コモドロバダビア→ピコツルンカド着。走行時間3時間
 既存の計測器撤去。ピコツルンカド泊
 9月29日(水) タワー作業、撤去、新風速計設置、調整。ピコツルンカド泊
 9月30日(木) データ収集・調整、撤去の計測器梱包。コモドロバダビア泊

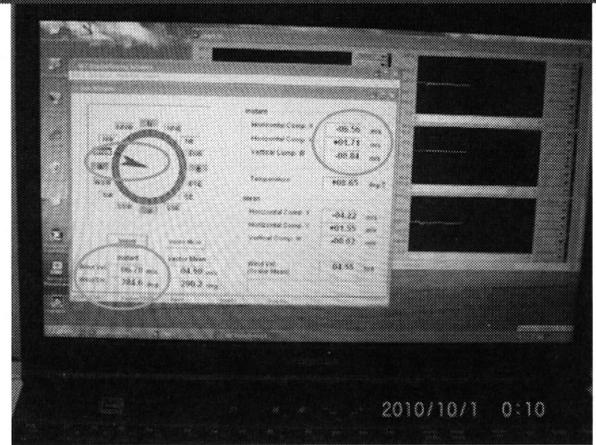
10月1日(金) NHKとHYCHICO、TGS見学。ピコツルンカド泊
 10月2日(土) NHKに観測設備説明。コモドロバダビア泊

10月3日(日) コモドロバダビア→ブエノスアイレス。ブエノスアイレス泊

10月4日(月) JICA、日本大使館、CAPSA訪問。
 ブエノスアイレス→ヒューストン→
 10月6日(水) 14:20 成田着

6

9月30日調整完了

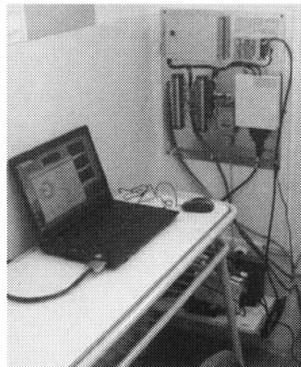


7

電源と電子機器設置状況



変圧器と停電に備えた蓄電器



新機器配置状況 8

電子機器パネルの銘板



9

10月4日(月)午後:CAPSA訪問、夜:離亜爾然丁



アルゼンチンのパイプライン網

CAPSA CEO Sergio Raballo 氏と今後の協力関係の進め方について会談



CAPSAが望む協力関係

- To produce CLEAN energy through Wind Parks in different areas of Patagonia Argentina.
- To EXPORT energy overseas to energy demanding countries plus supply wind energy to national grid.
- To develop the ways by which HYDROGEN becomes the energy vector.
- Mutual cooperation and interchange of information at academic and practical experiences levels, related to the production, storage, transportation and application of hydrogen as a fuel, originated from renewable energies, especially the wind power energy.
- Evaluation and interchange of information in order to obtain projects related to the above mentioned paragraph and which may be considered of practical interest for Argentina and Japan.
- To enter into technological and specific agreements covering the following three areas of interest with the proposed subjects: WIND, HYDROGEN AND UNDERGROUND STORAGE.

11